

理事会だより

第 26 号 発行:平成 29 年 10 月 31 日

平成 29 年度第 7 回 (H29.10.17) 理事会の
会議状況や決定したことについてお知らせし
ます。

第 7 回の理事会には、理事 9 名中 8 名が、
監事 2 名中 2 名が、事務局から 2 名の職員が
出席しました。

第 7 回の議事は、報告 9 件 (事業実績/業務
報告/監査結果報告/第 1 回地区班会議の開催
結果/各委員会の開催結果/シルバーの日ボラ
ンティア活動の実施)、議案 2 件 (正会員の承
認/第 1 回補正予算案)、協議 1 件 (請負業務
における見積基準の策定)、その他 1 件 (会員
等による入会勧誘に関する調査) でした。

事業実績等について

8 月の受注実績(請負・委任・派遣の合計額)
は、3,988 万円 5 千円でした。前年は 3,994 万
3 千円で、前年比 99.9%となりました。この
うち派遣業務の実績は 590 万 3 千円となり、
前年 (336 万 8 千円) に比べ大幅な増加とな
りました。会員数は、8 月 31 日現在では、900
名(男 619 名、女 281 名)となり、前月より 1
名の増でした。

9 月の受注実績(請負・委任・派遣の合計額)
は、4,259 万 3 千円でした。前年は 3,889 万
5 千円で、前年比 109.5%となりました。この
うち派遣業務の実績は 655 万 6 千円となり、
前年 (357 万 6 千円) に比べ大幅な増加とな
りました。会員数は、9 月 30 日現在では、900
名(男 618 名、女 282 名)となり、前月と同数
でした。

監査結果報告書について

月例監査は、8 月 21 日(月)にセンター会議
室において、6 月分と 7 月分の経理及び運営
状況について実施されました。総評では、県
連合会から当センターへの派遣事業協力費の
遅延について、他センターの請求処理の遅れ
が原因と確認されました。会計監査では、回
収不能債権の取り扱いとして、償却一覧表を
作成し、その経緯の記載と償却求償権の管理
事務の停止を記録することと、規程の整備に
ついて指摘がありました。業務監査では、就

業実人員就業率に関する質問、出雲市生活支
援体制整備推進協議体の取組への検討、複数
の児童クラブに関する業務の受注票等の一括
処理、水道メーター計量業務の体制について
指摘がありました。

第 1 回地区班会議の開催結果について

第 1 回の地区班会議は、8 月 18 日から 9 月
1 日の間に 8 か所で開催し、246 名の出席があ
りました。センターからは、地区班交付金、
安全就業大会、安全パトロール、請負業務に
係る見積基準の作成について説明し、特に見
積基準に関する質問・意見が多くありました。

各委員会の開催結果について

各委員会が開催され、それぞれの事業・検
討事項等は次のとおりです。

○安全就業委員会：外部講師による安全研
修の実施、安全就業推進大会、安全巡回パト
ロール、安全就業研修会、対象会員の面接、

○適正就業委員会：就業日数・時間の上限
規制を超える就業の実態把握と対応、同一就
業場所での長期就業の実態把握とその対応

○就業開拓推進委員会：空き家・空き地管
理の事業化、新規事業の考案、

○普及啓発促進委員会：会報の発行、チラ
シの作成と活用、ボランティア活動、会員拡
大についての意見交換、

第 1 回補正予算について

第 1 回補正は、特定資産積立金のうち、施
設改修積立金について本年度実施する建築・
設備改修の実施設計費等に充当するため、一
部取り崩しを行うための補正と、そのほかに、
事業費、管理費の各費目について所要の補正
を行いました。

請負業務における見積基準の策定について

地区班会議、職群班会議での質問・意見を
参考に、見積基準を再検討し原案を決定しま
した。今後、第 2 回目の地区班会議、職群班
会議で意見を求め、理事会で決定していく予
定です。

理事会を傍聴できます

理事会の傍聴を希望される会員は、事務局
へご連絡ください。なお、定員は 8 名です。

定例理事会：12 月 12 日(火)(13:30-16:30
センター会議室)

